

教科	国語	単位数	2単位	学科・学年・コース	1年 普通・特進コース
使用教科書	高等学校 「新編言語文化」(東京書籍)				
副教材等	「常用漢字ダブルクリア四訂版」(尚文出版) 「ビジュアルカラー国語便覧改訂版」(大修館書店)				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習方法

授業の進め方

- ①最初の授業でオリエンテーションを行い、授業の進め方、学習方法、評価方法等について説明する。
- ②学習計画にそって授業を行い、課題提出、小テスト等を通して学習内容の定着を図る。
- ③図書館を利用した調べ学習を取り入れ、辞書及び便覧活用の定着を図る。

3 提出課題等について

年間を通して行う提出課題

- ①授業・家庭学習で使用したノートやワークシート(プリント)の提出 ※プリント類は必ずファイルに綴ること。

夏休みの課題・・・読書感想文

- ・具体的な要項は夏休み前に連絡します。(読書に親しむ生活を心がけましょう。)

4 評価方法

令和4年度入学生より新学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、3つの観点及び評価資料に基づいて行います。

- (1) 3つの観点・・・ 1. 知識・技能 2. 思考・判断・表現 3. 主体的に学習に取り組む態度
- (2) 各観点の評価資料

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
評価資料	学習状況 定期テスト 単元テスト 漢字テスト 実技 課題レポート など	学習状況 論述・課題レポート グループ活動 作品制作・表現活動 定期テスト 単元テスト など	学習状況 音読テスト・暗唱テスト 課題レポート 宿題提出 振り返りシート など

- (3)各学期の評価は達成状況を基にABCの3段階で行います。

評価	評価の基準	達成状況
A	十分満足できる	80以上～100以下
B	おおむね満足できる	50以上～80未満
C	努力を要する	0以上～50未満

- (4)学年末の評定は各観点の年間達成状況により以下の5段階法で行います。

評定	評価の基準	総括的達成状況
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	80以上～100以下
4	十分満足できる	65以上～80未満
3	おおむね満足できる	50以上～65未満
2	努力を要する	35以上～50未満
1	努力を要すると判断されるもののうち、特に程度が低い	0以上～35未満

5 学習の計画

期	月	教 材	授業時間	学 習 目 標	評価の観点		
					知識及び技能	書くこと	読むこと
一 学 期	4	オリエンテーション	1	○年間の学習目標を設定し、授業への心構えを作る。	◎	○	○
		文体の変遷	3	○歴史的な文体の変化について、实例に即しながら理解を深める。 ○日本人がどのような言葉や文体で表現してきたかについて学び、気づいたことを書き表す。	◎	○	◎
	5	生きる喜び 随筆 さくらさくらさくら・「美しい」ということ	3	○日本独特の感性について理解を深める。	◎	◎	○
		中間考査					
		漢文に親しむ 漢文入門 訓読の仕方・故事成語-三編	4	○訓読の仕方について学び、日常的な場面における故事成語の使い方を考える。	◎	○	◎
		古文の世界へ 古文入門 児のそら寝	4	○歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 ○古典文学登場人物や当時の生活の様子について調べ、発表する。	◎	○	◎
	6	触れ合う心 小説1 とんかつ	4	○小説の読み方について学び、作品の主題を捉える。	◎	○	◎
		中間考査					
		命をうたう 詩歌【短歌】 柳あをめる	4	○短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ○短歌の内容や作者について調べ、感想文を書く。	◎	◎	○
	7	日々の思い 随筆 徒然草・枕草子	4	○随筆文学の特徴をまとめ、レポートを書き発表する。 ○動詞の種類と活用について学ぶ。(特進コース)	◎	○	◎

二 学 期	9	漢詩を味わう 漢詩 鹿柴・春暁・黄鶴楼 送孟浩然之広陵・贈汪倫・ 涼州詞・春望	4	○漢詩こうたわれた情景や作者の心情を読み取り、元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように、表現を工夫して訳詩を書く。	◎	○	◎
	10	葛藤する心 小説2 羅生門	4	○極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ○元になった古典作品と読み比べ、作品の主題を捉える。	◎	○	◎
		中間考査					
		古典芸能へのいざない 能・狂言・人形浄瑠璃・歌舞伎	4	○古典から受け継がれてきた芸能について調べ、理解する。 ○組踊と日本の伝統芸能について調べ、新聞を作る。	◎	○	◎
	11	古人の生き方 物語 伊勢物語	4	○歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ○歌物語を読んで、気づいたことや気になったことを自分の言葉でまとめる。 ○形容詞・形容動詞の種類と活用について学ぶ。(特進コース)	◎	○	◎
		命をうたう 詩歌 冬が来た・少年の日 ・I was born	4	○詩歌や歌詞の表現方法や用いられている言葉について考える。	◎	○	◎
		旅の心 紀行 奥の細道	3	○俳句に表現されたことを踏まえて、作者の思いを捉える。	◎	○	◎
		期末考査					
	12	命をうたう 詩歌【俳句】 雪の深さを	3	○俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 ○歳時記から好きな季語を選び、俳句を作る。	◎	◎	○
	三 学 期	1	論語のことば 論語 論語一八章	4	○孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。 ○論語を読んで、自分でテーマを決め、考えを述べる。	◎	○
現実の向こう側 小説3 夢十夜			4	○表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。 ○小説の内容をプレゼンテーションシートにまとめ、発表する。	◎	○	◎
2		古人の生き方 物語 平家物語	2	○軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の言動や心情を読み取る。 ○和漢混淆文のリズムを読み味わおう。	◎	○	◎
		期末考査					
3		史話を楽しむ 史話 史話一三編	4	○話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。 ○史話を読み、自らが理想とする人間像について考える。	◎	○	◎
		まとめ	2	○一年間の学習を踏まえ、自らテーマを決めて、好きな文体で表現する。	○	◎	○